

手洗い蛍光チェッカーを実施しました

6月に工場従業員を対象に手洗いチェッカーを行いました。

蛍光成分入りのローションを手に伸ばし、特殊な光（ブラックライト）にかざすと、ローションの付いた部分が光ります。この状態でいつものように手洗いをした後、もう一度ブラックライトを当てると、手洗いによってローションを洗い落とせなかった部分だけが光ります。

普段では見ることのできない「洗い残し」を光として可視化することで、自分の「手洗いの弱点（＝汚れの落ちにくい部分）」を知ることが目的です。勤務終わりの従業員を対象とし、89名が自分の手洗いの弱点を確認し、より丁寧なこすり洗いが必要な箇所として、今後の手洗いに役立てました。



実施風景